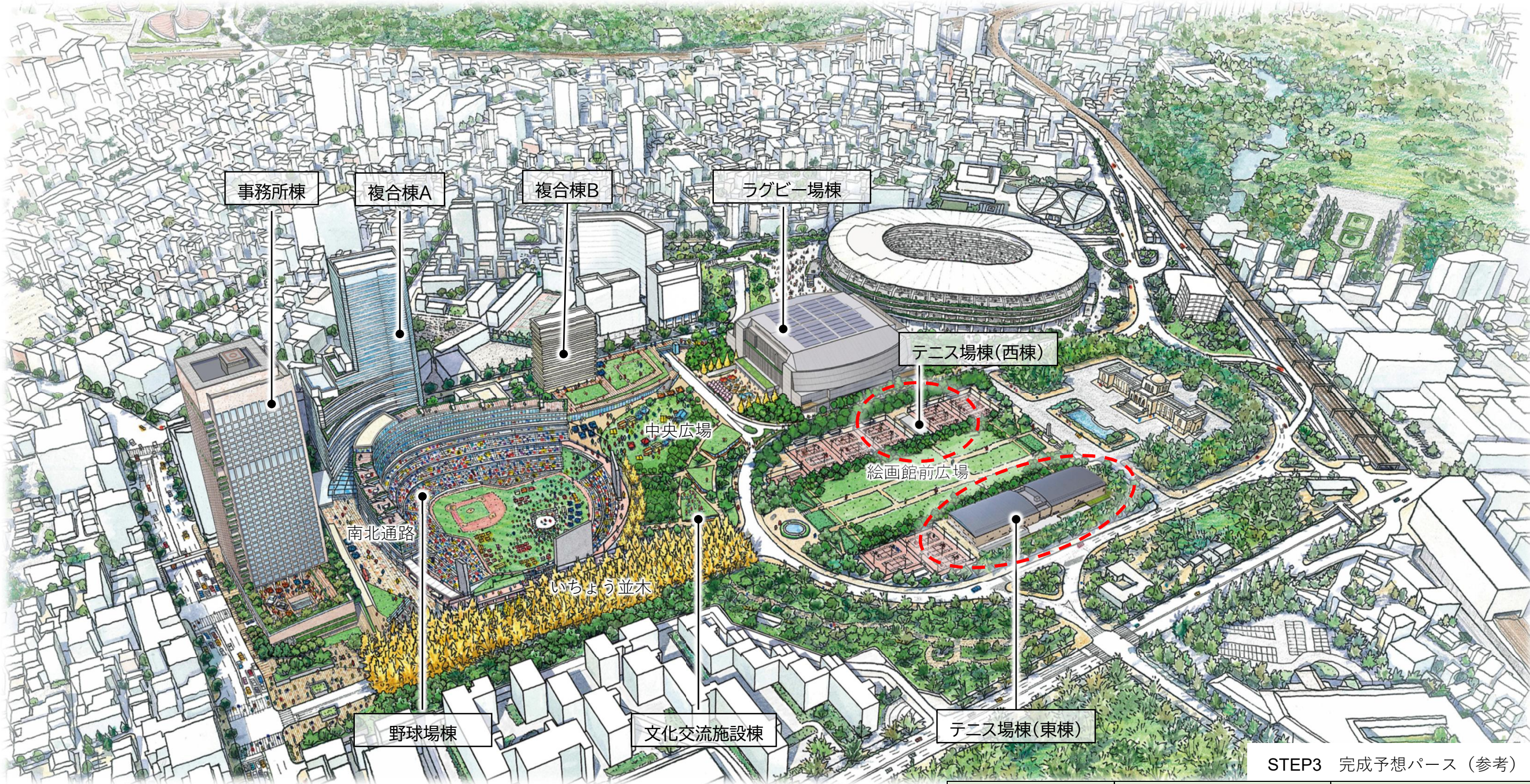


■目次

01 計画概要	2
02 周辺の現状	4
03 本計画におけるユニバーサルデザインまちづくりの基本方針	6
04 本計画におけるユニバーサルデザイン計画	7
05 多様なニーズを有する人々への対応	15
06 図面	16



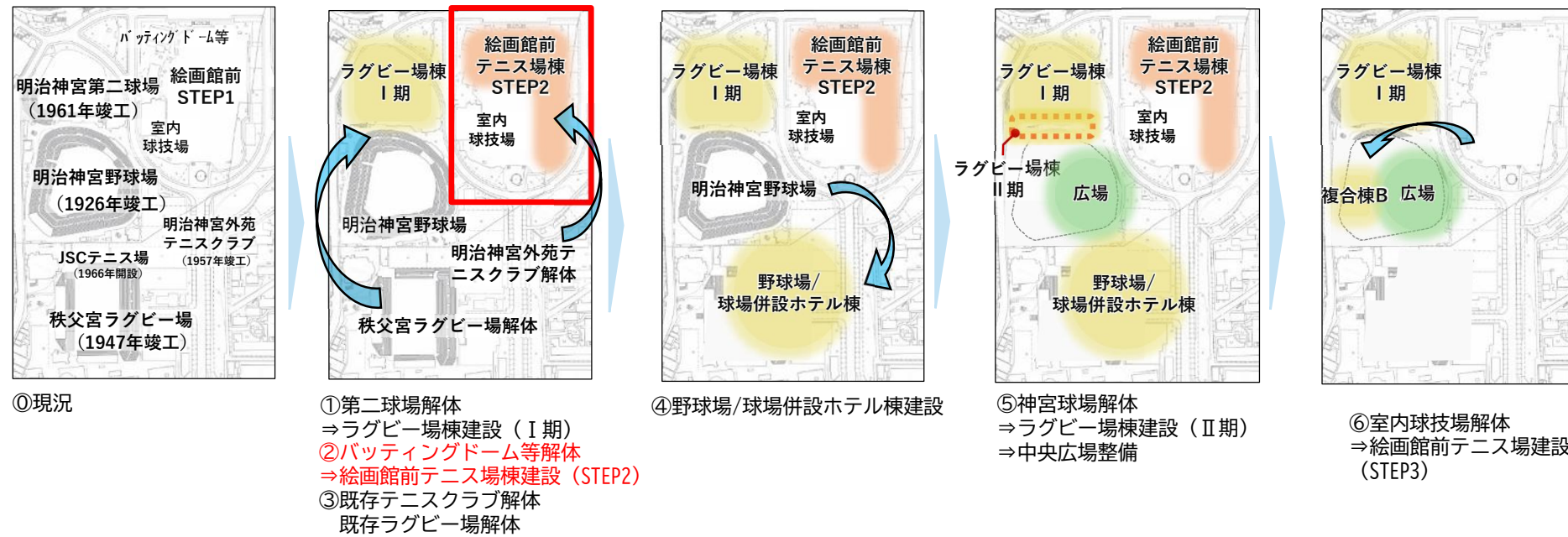
STEP3 完成予想パース（参考）

	東棟	西棟
計画地の位置	東京都新宿区霞ヶ丘町12番2外・港区北青山1丁目26番外、他9筆	
地域地区	第二種中高層住居専用地域	
主要用途	スポーツの練習場	スポーツの練習場
敷地面積	約19,500㎡	約17,650㎡
建築面積	約6,000㎡	約600㎡
延床面積	約11,650㎡	約600㎡
容積率(指定容積率)	約61%(200%)	約3.3%(200%)
建蔽率(指定建蔽率)	約32%(40%)	約3.3%(40%)
建物高さ (平均値盤面からの高さ)	約14m	約6m
階数	地上2階	地上1階
着工/竣工(STEP2)	2026年12月中旬/2028年3月中旬	

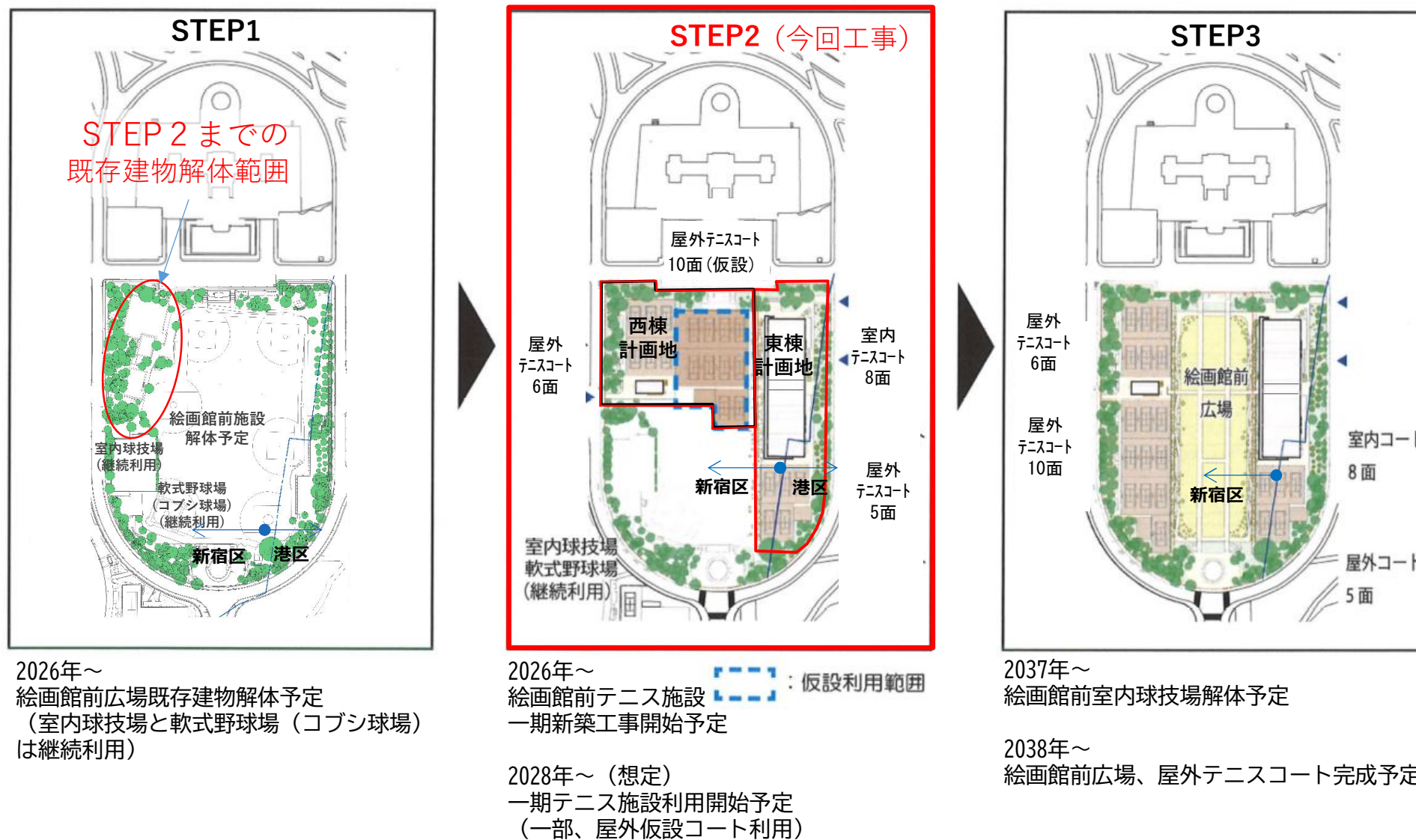
※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パース等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

(仮称) 聖徳記念絵画館前整備事業

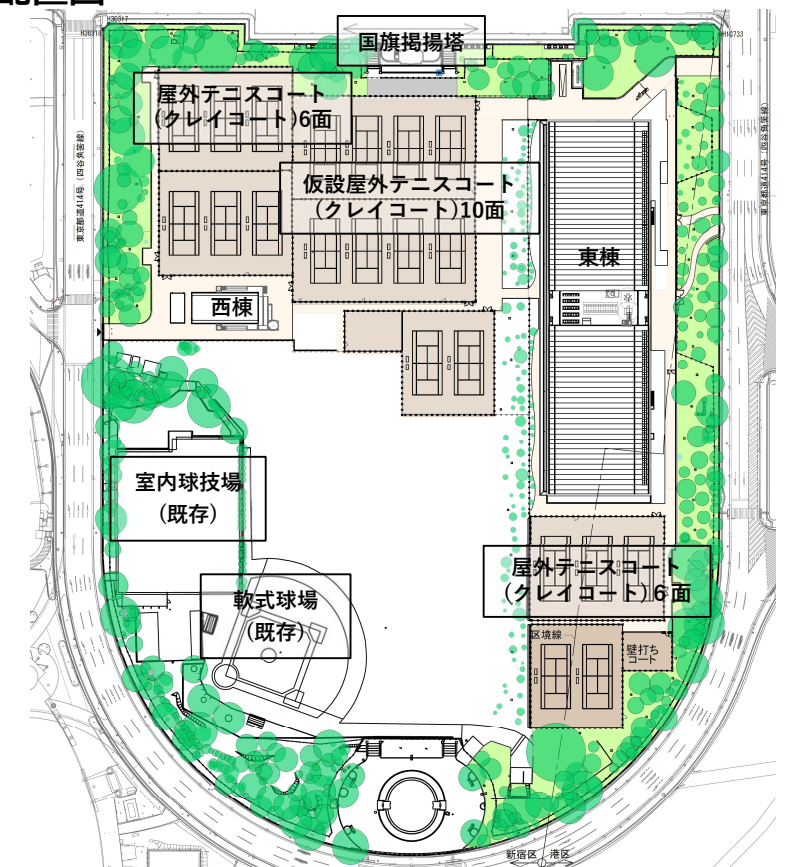
段階的な建替え



絵画館前エリアのSTEP図



STEP2配置図

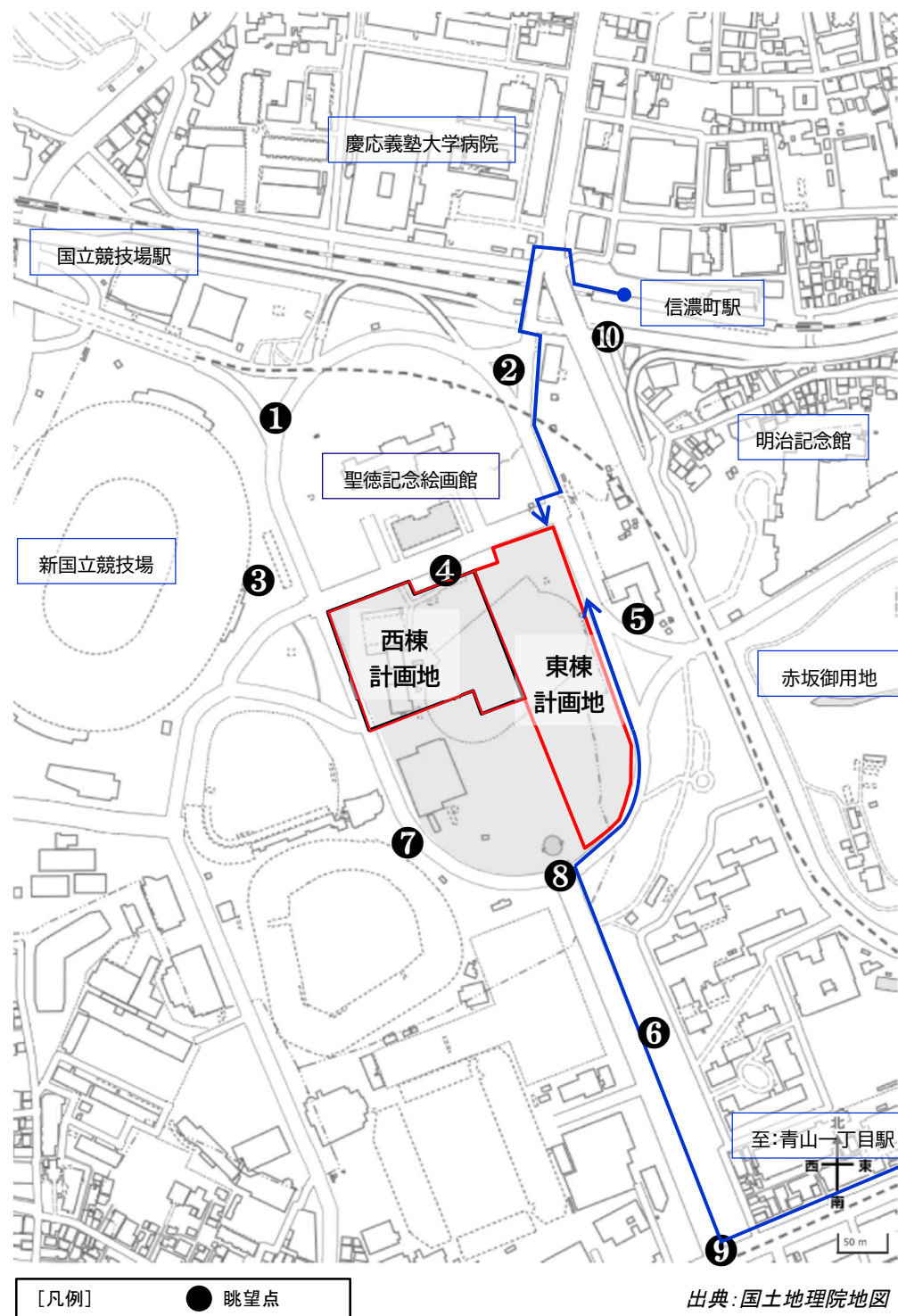


STEP3配置図(参考)



02 | 周辺の現状

付近見取図・現況写真



※西棟利用者も東棟からアクセスする

① 北西側円周道路

国立競技場と聖徳記念絵画館、周辺の樹木が生い茂る場所で、車の通行が多い。国立競技場駅から野球場や国立競技場へのルートでもあり、他施設のイベント開催時には混雑が予想される。

③ 国立競技場前遊歩道

国立競技場の周囲は、外構散策が可能なフラットで幅広い歩行者空間が整備されている。ベンチ等が点在して配置されており、雨天時には軒下の通行も可能。

⑤ 東側円周道路

東棟敷地沿いに繋がる神宮外苑円周道路には樹木が茂っており、落ち着いた雰囲気を感じる歩行空間が続いている。東棟敷地のメインエントランスへの最寄りルートとなる。

⑦ 西側円周道路

西棟敷地沿いに繋がる神宮外苑円周道路。イベント開催時には、周辺施設への利用者による混雑が予想される。

⑨ 外苑青山口

いちょう並木が一直線に伸び美しい景観軸を形成している。地下鉄青山一丁目駅からのルートは、青山通り沿いの歩道は街路樹と合わせて幅広く、フラットな歩行者空間が神宮外苑入口まで続いている。



② 北東側円周道路

JR信濃町駅前から外苑に向かう沿道は、車両の通行も多いが緑豊かな環境が広がる。両側に樹木が生茂る歩行者空間となっており、朝夕はランニングや犬の散歩をする人等の往来がある。

④ 聖徳記念絵画館前

聖徳記念絵画館前通り。ゆったりとした歩行者空間となっており、休日には多くの人々で賑わう広場空間となっている。

⑥ 外苑のいちょう並木

豊かな緑陰の歩行者空間が続き、散策の心地よさ、連続性が創出されている。特に黄葉の時期は沢山の人々にぎわう。

⑧ 聖徳記念絵画館前（丸池側）

丸池周辺は絵画館を望める開けたスペースであり、ベンチ等も設置されており、歩行者の休憩場所としても位置付けられる。

⑩ 信濃町駅周辺

JR信濃町駅からのルート。四ツ谷三丁目方向の横断歩道を渡り、四ツ谷角筈線陸橋から聖徳記念絵画館方向へ進むフラットな歩道が続く。



※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

（仮称）聖徳記念絵画館前整備事業

- ・1926年、明治神宮外苑は体力の向上や心身の鍛錬の場、文化芸術の普及の拠点として、記念建造物及び多様なスポーツ施設が旧青山練兵場跡に造成され、明治神宮に奉献された。
- ・神宮外苑創建当時、内苑とは対比的に「大衆の屋外レクリエーションのための広大な景園地」をつくることが造苑計画の基本方針とされた。
- ・神宮外苑においては、創建当初より国民のためのスポーツの場を提供するため、最先端の多様なスポーツ施設が整備されてきた。

■神宮外苑の歴史経緯

○神宮外苑の創建

- ・明治神宮外苑は、明治天皇とその皇后、昭憲皇太后のご遺徳を永く後世に伝えるため、聖徳記念絵画館を中心に、体力の向上や心身の鍛錬の場、また文化芸術の普及の拠点として、憲法記念館（現明治記念館）などの記念建造物と、陸上競技場（現国立競技場）、神宮球場、相撲場などのスポーツ施設が旧青山練兵場跡に造成され、大正15年（1926）10月に明治神宮に奉献された。
- ・創建から終戦まで外苑は国の施設として管理され、戦後は宗教法人明治神宮の外苑として国の管理を離れ、独自の事業収入により諸施設の管理運営が行われている。



野球場竣工式と野球場開き



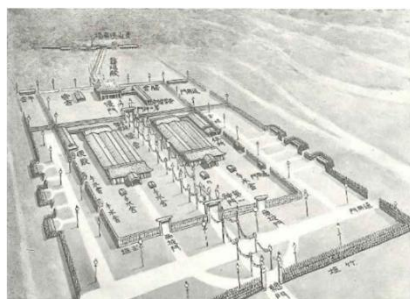
相撲場（第二球場）



聖徳記念絵画館

■外苑造営時のマスタープラン

- ・外苑全体は「大衆の屋外レクリエーションのための広大な景園地」をつくることが造苑計画の基本方針とされた。
- ・絵画館前広場では、並木通りから絵画館に到達する広場内通路が明治天皇の大葬場の神道をイメージして設けられており、景観軸を構成していた。
- ・このような歴史経緯の中、まちづくり指針においても、絵画館の前庭としての広場の位置づけがされている。



明治天皇大葬場鳥瞰図



創建時芝生広場



創建時神宮外苑

■国民のためのスポーツの場の提供

○国民のためのスポーツの場の提供

- ・時代の移り変わりと共に世の中のスポーツ観は、選手の強化育成や競技会での記録重視の観るスポーツから国民ひとりひとりが健康増進や趣味として楽しむスポーツへと大きく変貌して来た。外苑もその時々要望に答え、水泳場、軟式球場・テニスコート・ゴルフ練習場・アイススケート場・打撃練習場（バッティングドーム）・フットサルコートなど次々と時代の先端の施設を作り、改修も重ねて、活発で楽しい場所を提供してきた。



バスケットボール場（1933年）



ゴルフ練習場（第二球場）（1953年）



硬式テニスコート開場（1957年）



絵画館前角池（かっぱ天国）（1959-1961年）



明治神宮第二球場竣工（1961年）



神宮球場増改築（1962年）

○1964東京オリンピックの開催

- ・1956年、昭和39年（1964）の東京オリンピック開催のため外苑競技場は国（文部省）に譲渡され、国立競技場となった。オリンピック時には聖徳記念絵画館の前庭は練習場としても活用された。



国立競技場（1964年）



絵画館前庭（1964年）



開会式（1964年）

※※：巻末出典参照

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

（仮称）聖徳記念絵画館前整備事業

03 | 本計画におけるユニバーサルデザインまちづくりの基本方針

□ユニバーサルデザインまちづくりに関する方針

本計画では、高齢者を含む多様な利用者を想定し、幅広い世代が利用しやすいテニス施設の整備を目指します。テニスコートについては、車いすテニスを含む多様な利用ニーズへの対応を検討し、限られた敷地条件の中で利用環境とコート面数の確保の両立を図る計画としています。

なお屋内コートについては、人工芝であり、コート広さ等の規格は車いすテニスの公式大会開催基準には適合していませんが、車椅子利用者を含む多様な方々がレクリエーションやウェルビーイング、生涯スポーツとしてテニスを楽しめる環境を創出します。

方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画

<整備計画>

- 1-1 車椅子利用者用駐車施設の適切なスペースを確保した計画
- 1-2 子ども連れ利用者等へ配慮した駐輪場の計画
- 1-3 車椅子利用者や異性介護者等へ配慮した更衣室、シャワー室等の計画
- 1-4 高さの異なる受付カウンターの計画
- 1-5 災害時対応の計画
- 1-6 車椅子利用者用便房の動線や設備の計画
- 1-7 高齢者等に配慮したサイン等の計画
- 1-8 車椅子利用者一時避難スペースの計画
- 1-9 目線の高さに配慮した見学エリアの計画
- 1-10 夜間の安全に配慮した外構照明の計画(STEP3)
- 1-11 熱中症対策の計画

方針②

ユニバーサルデザインに配慮した地区内の回遊性を高める交通ネットワークの整備

<整備計画>

- 2-1 南北、東西方向の通路等の整備によるイベント時の混雑軽減と回遊性を強化

方針③

地域共生社会において多くの来街者が健やかに憩える場所となる広場スペースを確保

<整備計画>

- 3-1 外構計画
- 3-2 段階的整備途中における利用者の安全確保(STEP2)

□地区の特徴

- ◆ 国民に開かれたスポーツの拠点としての歴史性
- ◆ 聖徳記念絵画館を望むいちょう並木のビスタ景を中心とした、歴史あるみどり豊かな景観・風致
- ◆ 地下鉄外苑前駅、青山一丁目駅、国立競技場駅、JR千駄ヶ谷駅、信濃町駅に近接しており、交通の利便性が高い
- ◆ 青山通り沿道では店舗／事務所等が集積して立地

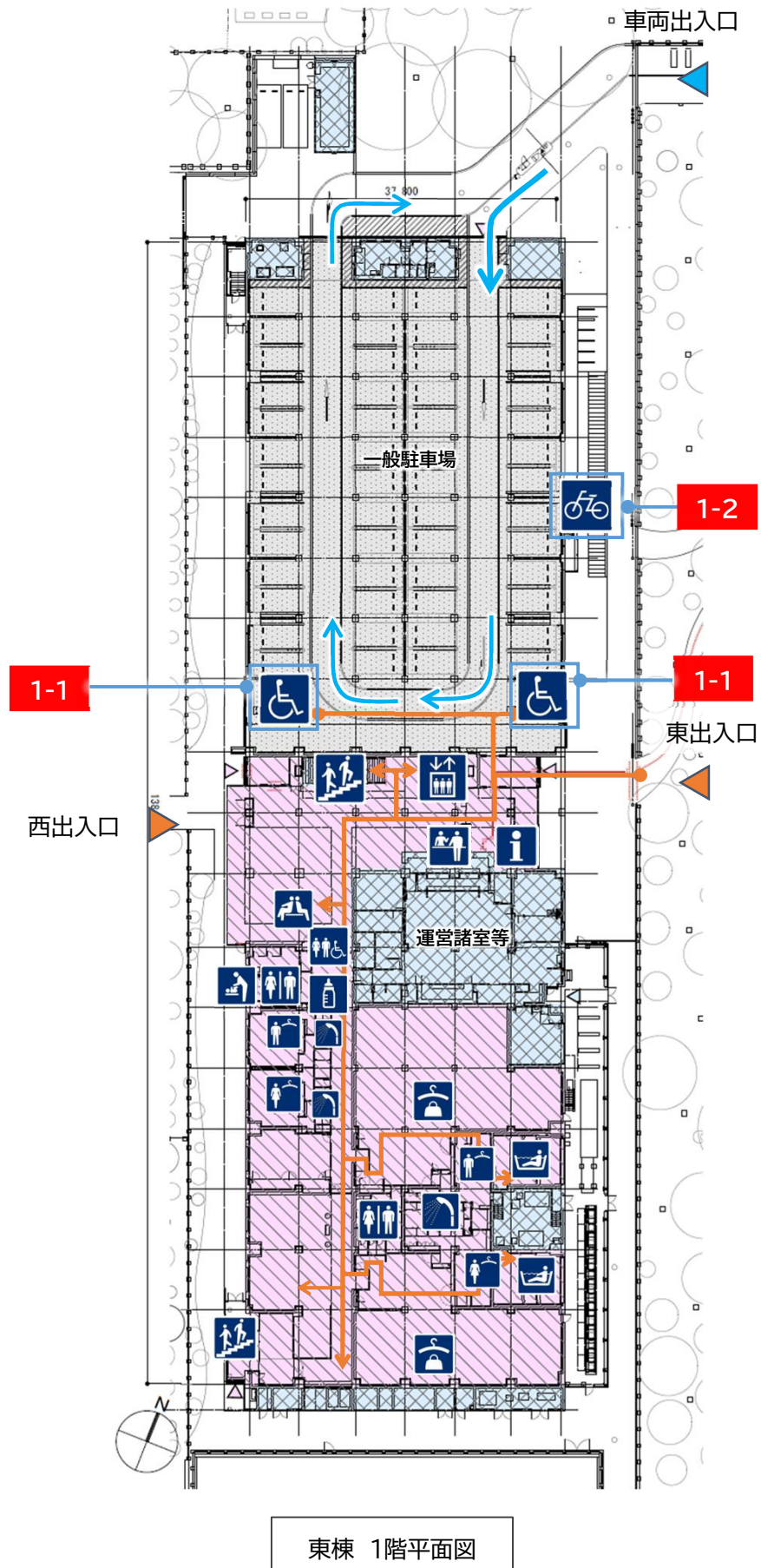
□主な課題

- ◆ 公園的機能である緑・広場空間の不足
- ◆ 公園施設等(スポーツ施設)の老朽化
- ◆ 地区内の歩行者等の回遊性が乏しい
- ◆ 広域避難場所としての機能向上

□第3回新宿区UDまちづくり審議会(令和3年10月21日開催)における主な意見

- ◆ 歩行者動線は案内サインも含めて誰でもわかりやすい動線計画とすること
- ◆ 安全のための歩車分離(自転車と車、歩行者の区分)において必ずしも分けられない場合は以下を注意して計画すること
 - ①駐輪場の適切な配置
 - ②歩行者と自転車の安全な動線確保
 - ③駐輪場の仕様に多様な利用者への配慮
- ◆ 防犯の視点からも夜間照明や見通し等の確保を図ること
- ◆ 多様性への配慮は障害者だけに限らず、施設に用事が無い人々も含めて、多様な利用者を想定した上でより良い場づくりを計画すること
- ◆ 施設づくりにおいては、当事者参加型の多様な意見を取り入れる機会を設けること
- ◆ 長期計画の為、計画段階におけるUDをどう達成していくかが重要。2036年までの間、工事中もどう使い続けることができるのかを触れるようにすること
- ◆ 歴史性の表現の中に、平和を訴えていく上でもこの地区の歴史性については今後の具体化を進めていく上できめ細やかに拾い上げて地区整備全体のコンセプトに繋げるようにすること

方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画



□身体に障害のある方の生の声を反映した計画

日本障がい者立位テニス協会(JASTA)様にヒアリングを実施し、いただいた意見を計画に落としこみました。また既存施設でも肢体不自由の方等の運営フォローとして手すりの設置やスタッフによる段差対応等を行っており、新施設ではその対応内容を計画に反映します。

■ヒアリングを基に計画へ反映している内容

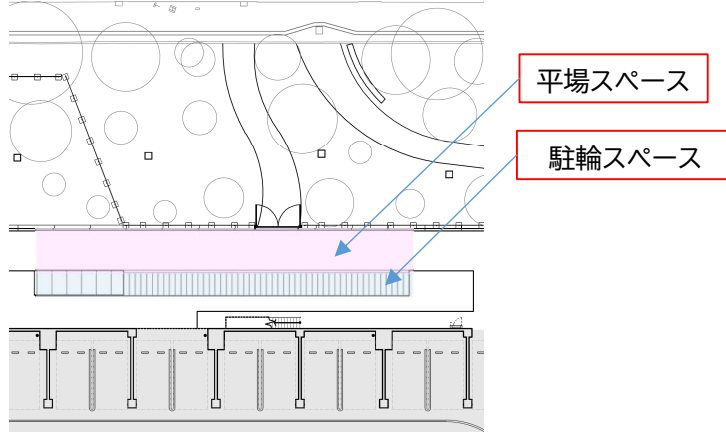
- ・ 身体に優しい屋外クレートコート採用
- ・ 車椅子使用者駐車施設の屋根設置(東棟)
- ・ わかりやすい動線・サイン
- ・ 座って更衣ができる更衣室
- ・ 受付にローカウンター併設



JASTA様との打合せ

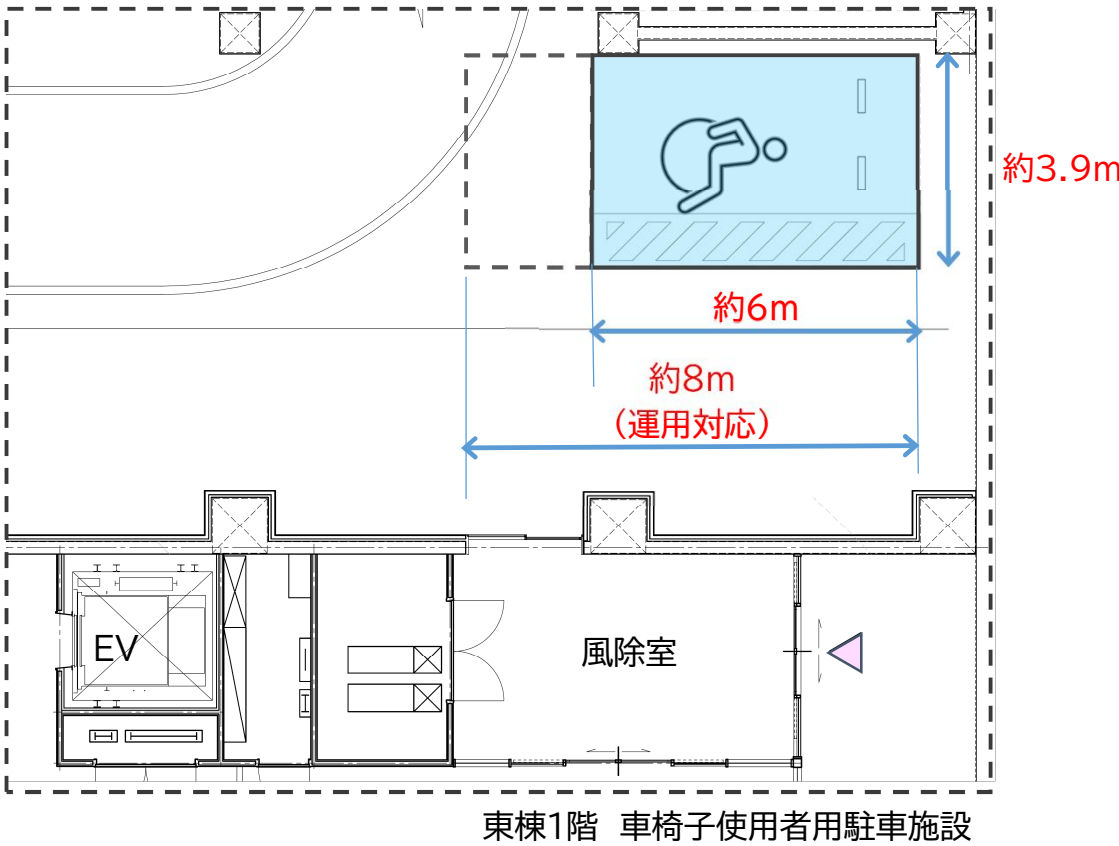
1-2 子ども連れ利用者等へ配慮した駐輪場の計画

駐輪場のラックは電動アシスト自転車駐輪可能な寸法とします。その手前に子どものませ下ろしが安全に出来るスペースを確保します。



1-1 車椅子使用者用駐車施設の適切なスペースを確保した計画

- ・ 約3.9mx6.0mの車椅子使用者用駐車施設2台をエントランスに近接した位置に確保します。
- ・ 1台分は奥行き6m程度確保し、必要であればスタッフが対応し、更なる必要スペースを確保します。



[ゾーン分け凡例]

- : 施設利用者
- : 運営関係者
- : 駐車場・車路
- : 屋内テニスコート

[入口凡例]

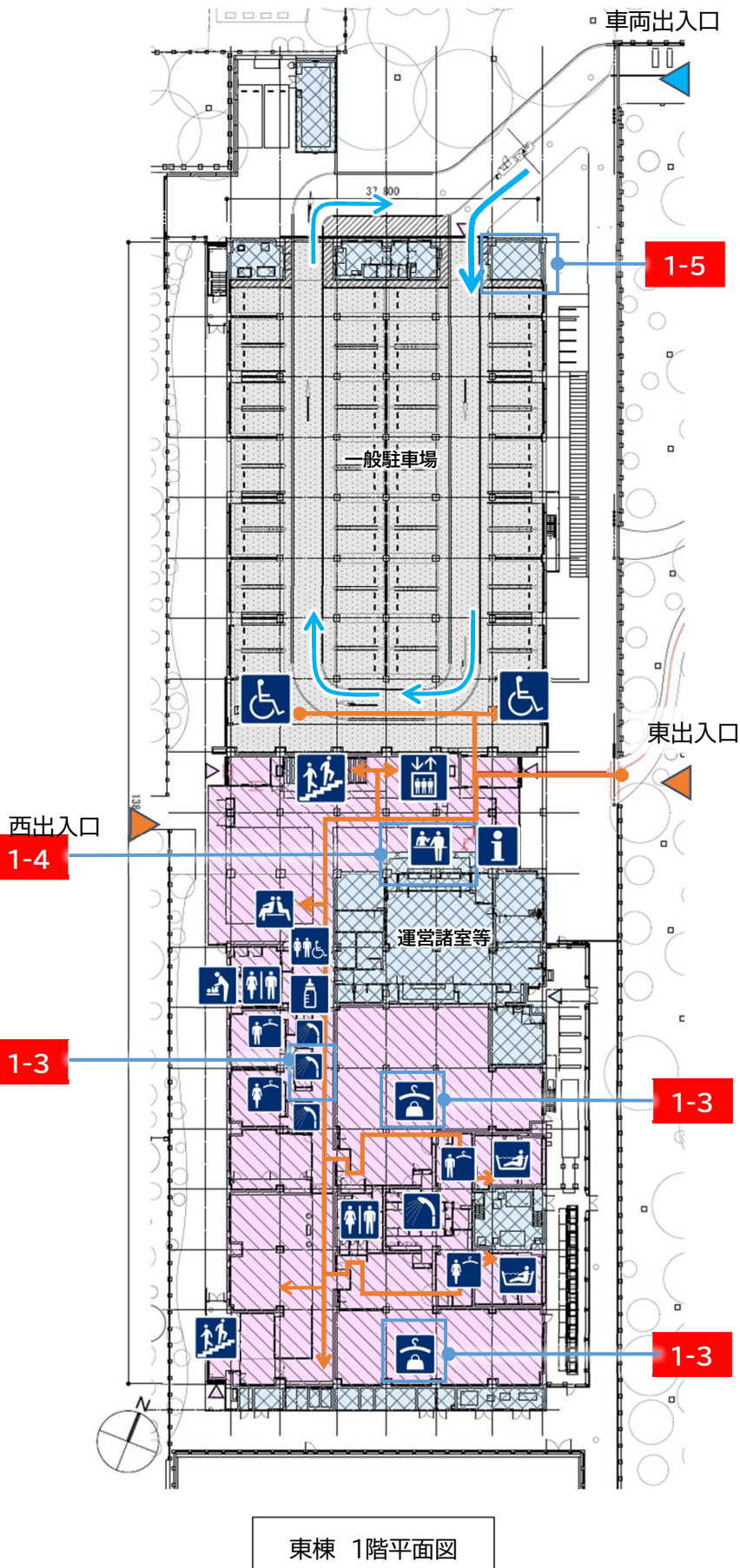
- ▽ : 施設利用者
- ▽ : 運営関係者
- : 移動等円滑化経路
- : 車両動線
- ▽ : 車両
- ▽ : 歩行者
- : 点状ブロック
- ≡ : 線状ブロック

[アイコン凡例]

- エレベーター
- 車椅子使用者用駐車施設
- 受付カウンター
- 男性/女性トイレ
- 授乳室
- シャワー室
- 女性更衣室
- ラウンジ休憩場所
- 階段
- 案内設備
- 車椅子使用者用便所
- ベビーベッド
- 浴室
- 男性更衣室
- ロッカー

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画



1-3 車椅子使用者や異性介護者等へ配慮した更衣室、シャワー室等の計画

将来の使用状況により、一部車椅子対応ロッカー設置を検討します。扉の開閉が容易で手が届きやすく、下部に車椅子が入るスペースにより寄付しやすい配慮を行います。またロッカー番号の文字サイズは大きく見やすい計画とします。更衣室等にはベンチを設け、高齢者や肢体不自由な方への配慮と熱中症対策を行います。

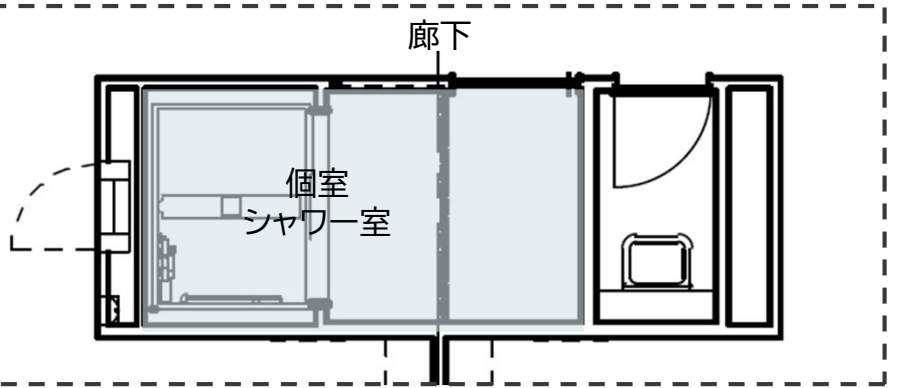


更衣室ベンチのイメージ



出典(株)アルファロッカーシステム

個室シャワー室を設け、異性介助者への配慮や周囲の目を気にせず更衣やシャワーを利用可能な計画とします。



1-4 高さの異なる受付カウンターの計画

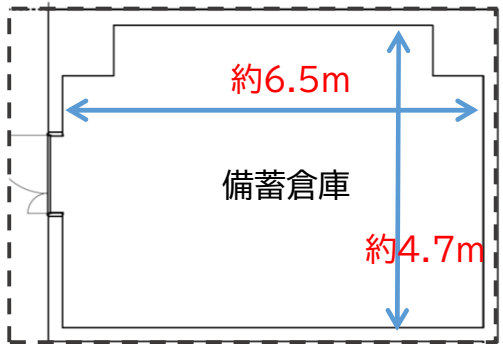
受付にはハイカウンター(H=1000mm)、ローカウンター(H=750mm)を併設し、下部に空間(H=650mm以上D=450mm以上)を確保することで、誰もが利用しやすい計画とします。また、ゆっくり会話したほうがよい方が落ち着いて話せるよう、受付周囲に椅子を設けます。



エントランスのイメージ

1-5 災害時対応の計画

当該敷地は大規模災害時の救助ヘリコプター臨時離着陸場候補地となっています。備蓄倉庫は1階、駐車場出入口付近に配置し、管理担当者が容易にアクセスできるようにします。災害時必要な物を保管します。



保存水



食料



簡易トイレ



毛布またはブランケット

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パース等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

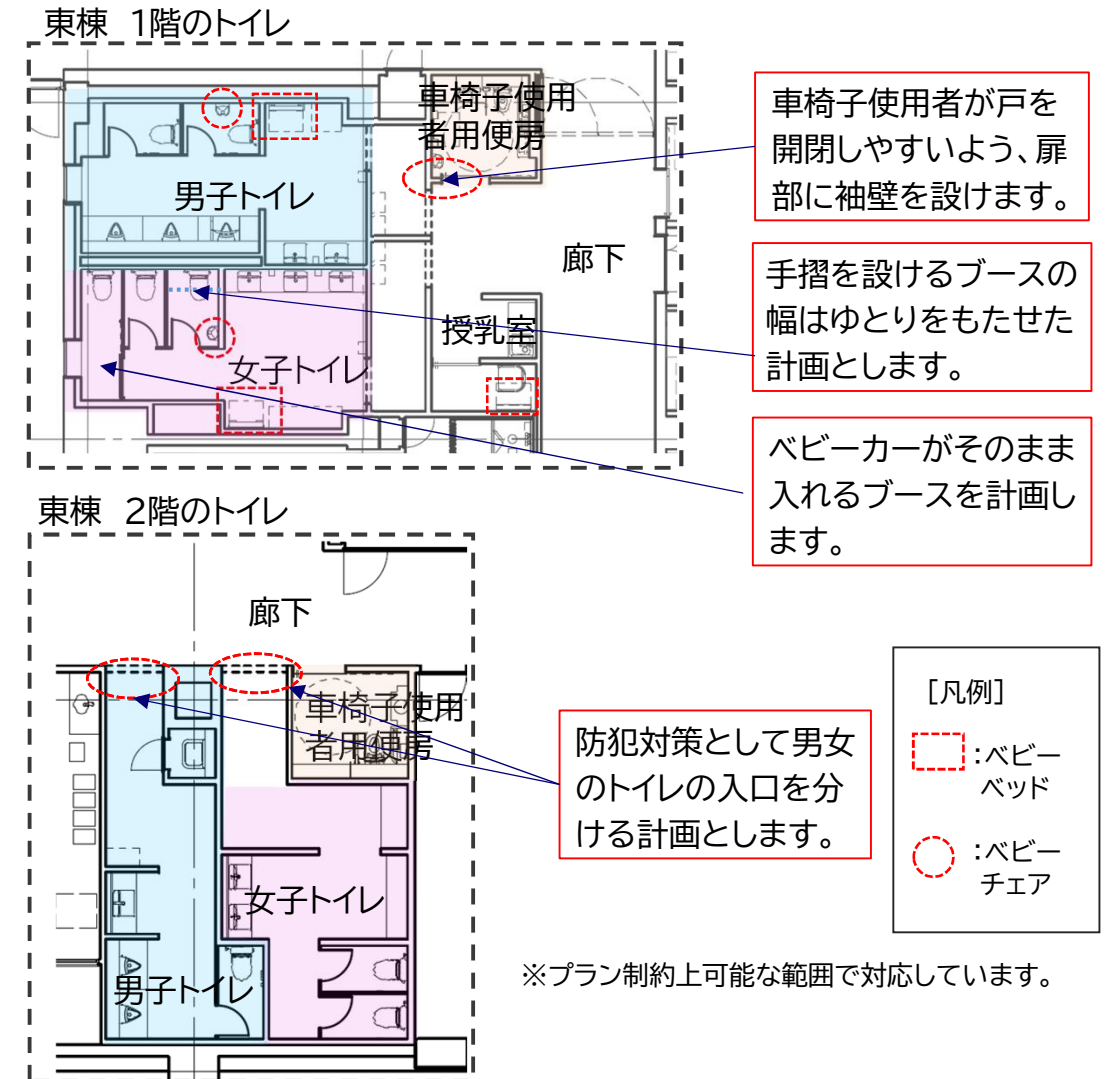
方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画



1-6 車椅子使用者用便房の動線や設備の計画

車椅子使用者用便房

- ・引き戸、有効幅900mm以上
- ・内法2000mm×2000mm以上、
直径1500mm以上
- ・便器両側手摺配置
- ・1階便房のレイアウトは左勝手、
2階便房のレイアウトは右勝手
- ・呼出しボタン整備(他のボタンと
わかりやすい識別にします。)



既存施設と新施設のトイレ器具数の比較

実際の収容人数(約300人想定)に対しての計画としています。
昨今の女性器具数不足の課題を鑑み、女性器具数に配慮しています。

	既存テニス施設	新テニス施設
男性 大便器(個)	3	4
男性 小便器(個)	5	7
女性 大便器(個)	5	7

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

(仮称) 聖徳記念絵画館前整備事業

方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画



1-7 高齢者等に配慮したサイン等の計画

誰でも確実に目的地へ到着できるよう、サイン計画と案内・誘導表示を設置します。

- ・エントランスに東棟は受付、西棟は案内設備を配置します。
- ・エレベーター、トイレ、授乳室、居室などに目印となるサインを設置します。
- ・文字はユニバーサルデザインの観点から設計し、「高齢者・障害者配慮設計方針(JIS)」を参考にUD書体を用い、十分な大きさを表示します。
- ・病気、加齢により視力低下した方にも配慮し、明度差が大きく見やすい配色とします。
- ・ピクトグラムを活用し、誰でも直感的に認識しやすいサインとします。
- ・案内音声は、高齢者でも聞き取りやすい男性の声を使用します。



明度差を確保した
色彩イメージ例

(東京カラーユニバーサルデザイン
ガイドラインより)

[ゾーン分け凡例]	
■: 施設利用者	■: 運営関係者
■: 駐車場・車路	■: 屋内テニスコート
[入口凡例]	
▽: 施設利用者	▽: 車両
▽: 運営関係者	▽: 歩行者
→: 移動等円滑化経路	○: 点状ブロック
→: 車両動線	≡: 線状ブロック
[アイコン凡例]	
エレベーター	階段
車椅子使用者用駐車施設	案内設備
受付カウンター	車椅子使用者用便所
男性/女性トイレ	ベビーベッド
授乳室	浴室
シャワー室	男性更衣室
女性更衣室	ロッカー
ラウンジ休憩場所	



参考イメージ

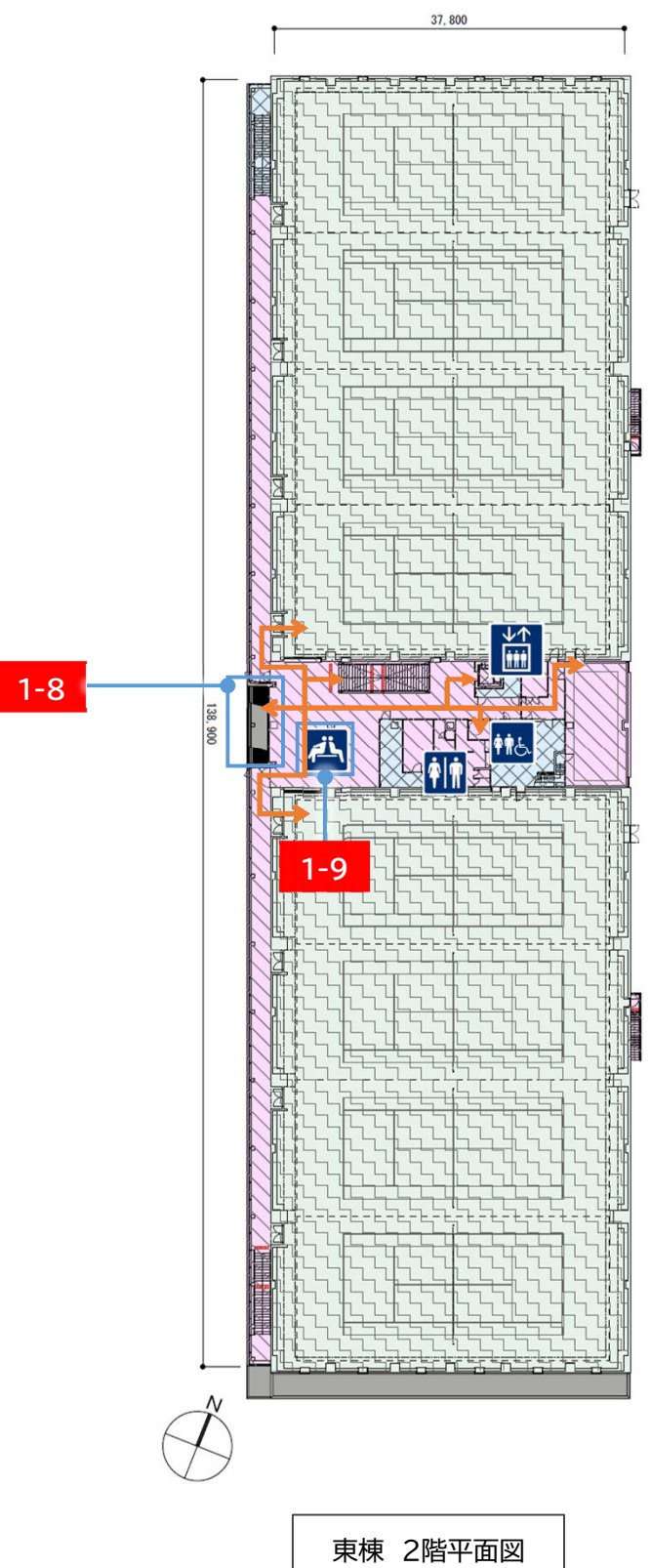
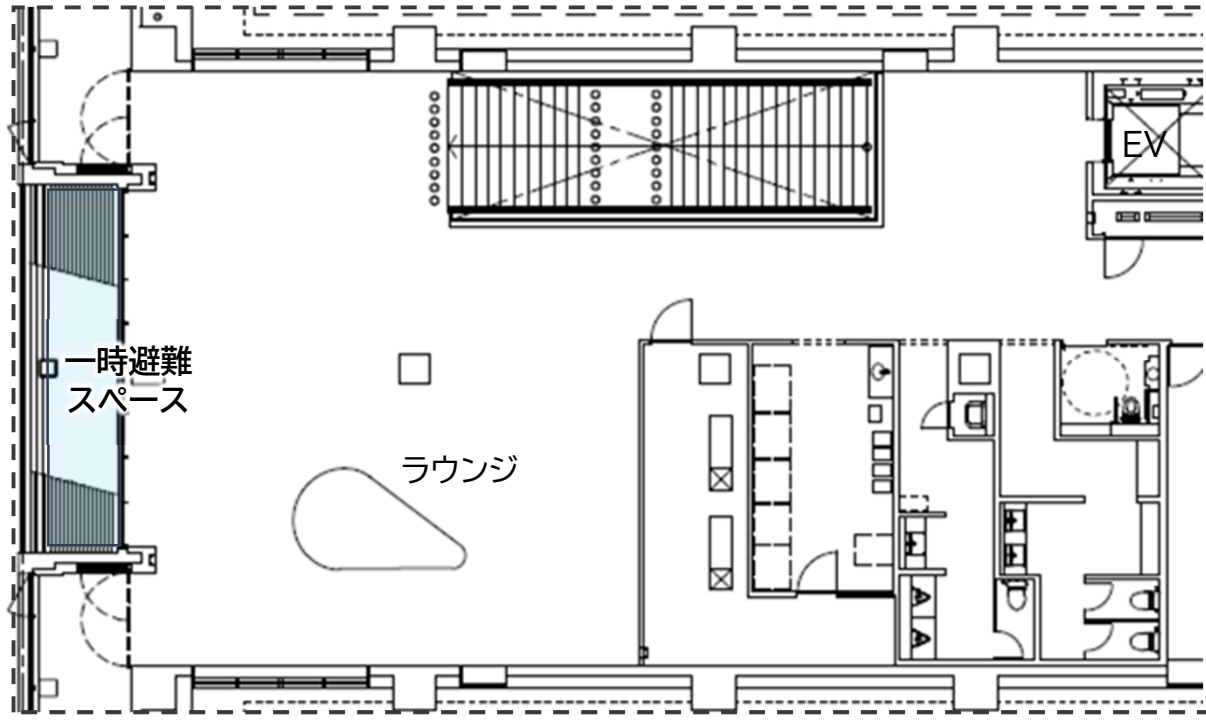
方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画

1-8 車椅子使用者一時避難スペースの計画

2階ラウンジ近くのテラスは、屋内との床段差を解消し、車椅子利用者の屋外安全待機スペースを兼ねた一時避難場所として整備します。火災時等には、救助隊到着まで安全に待機できる計画としています。



2階テラスのイメージ



東棟 2階平面図

- [ゾーン分け凡例]
- 施設利用者
 - 運営関係者
 - 駐車場・車路
 - 屋内テニスコート
- [入口凡例]
- 施設利用者
 - 運営関係者
 - 移動等円滑化経路
 - 車両動線
 - 車両
 - 歩行者
 - 点状ブロック
 - 線状ブロック
- [アイコン凡例]
- | | |
|-------------|-----------|
| エレベーター | 階段 |
| 車椅子使用者用駐車施設 | 案内設備 |
| 受付カウンター | 車椅子使用者用便房 |
| 男性/女性トイレ | ベビーベッド |
| 授乳室 | 浴室 |
| シャワー室 | 男性更衣室 |
| 女性更衣室 | ロッカー |
| ラウンジ休憩場所 | |

1-9 目線の高さに配慮した見学エリアの計画

車椅子利用者や子供の目線に配慮し、窓の下端を低く計画しています。周囲には障害物となるようなものは設けず、窓際まで寄り付きやすい配慮を行います。

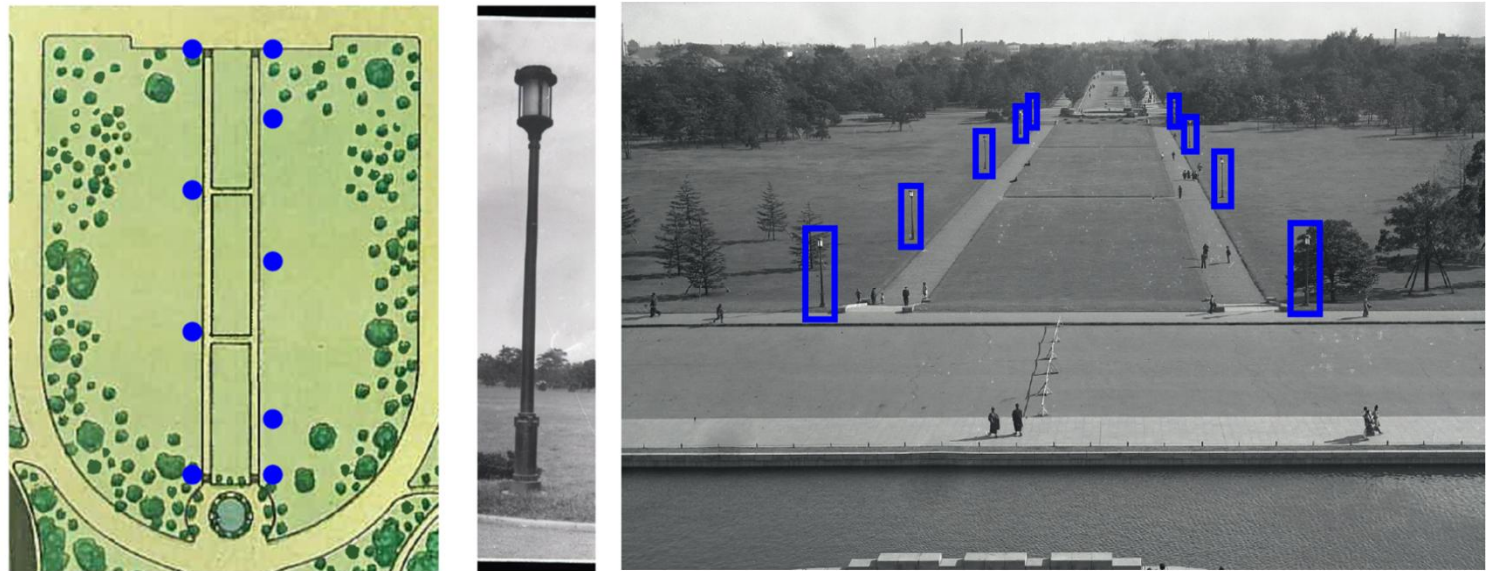


2階ラウンジのイメージ

方針① 様々な人の意見を反映した誰もが利用しやすい施設計画

1-10 夜間の安全に配慮した外構照明の計画(STEP3)

絵画館前広場は創建当時の灯具を再現した照明を当時の配置に基づき設置し、歴史的デザインを尊重します。
一方で、夜間の照明計画は、安全性を確保しつつ、歩行者ネットワークを分かりやすく誘導することを基本方針とします。
歩行動線を誘導できるような、ライン照明の設置等を継続検討します。



創建時の照明計画

【凡例】

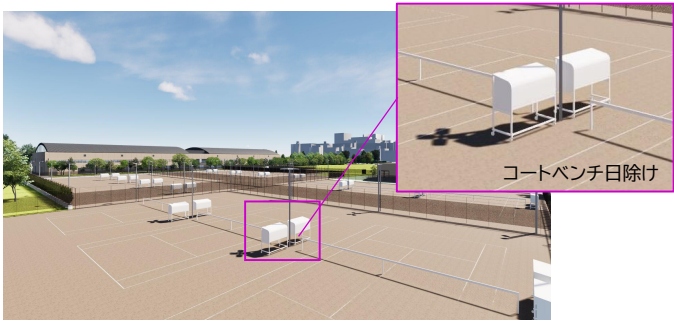
- 創建時照明**
創建当時の雰囲気を醸成すべく、創建時を想起させるポールおよび灯具を採用する。
- 芝演出照明**
芝のライトアップと照度確保を行う。
ポール1つにつき3台の投光器を設置する。配光制御が可能なら、フードやフィルターを見込む。
- ポールスポットライト**
夜間人通りの多い箇所や監視を行う上で、暗がりにしたくない個所に設置する。光源は一般LEDを計画する。



STEP3 配置図

1-11 熱中症対策の計画

屋外の各所コートベンチには日除けを設置し、熱中症対策を行います。西棟休憩所にはカームダウンスペースとしてハイバックソファ等を設置します。



屋外コートイメージ

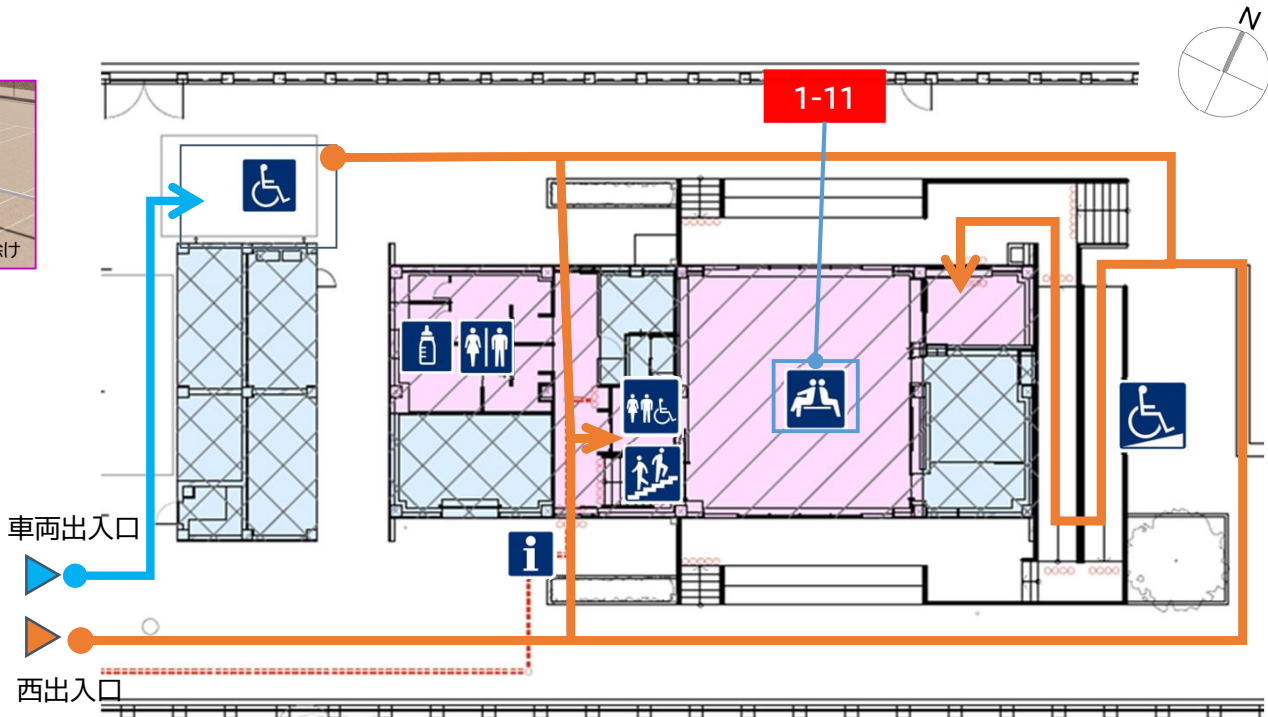


西棟休憩所イメージ



ハイバックソファイメージ

出典:コクヨ(株)



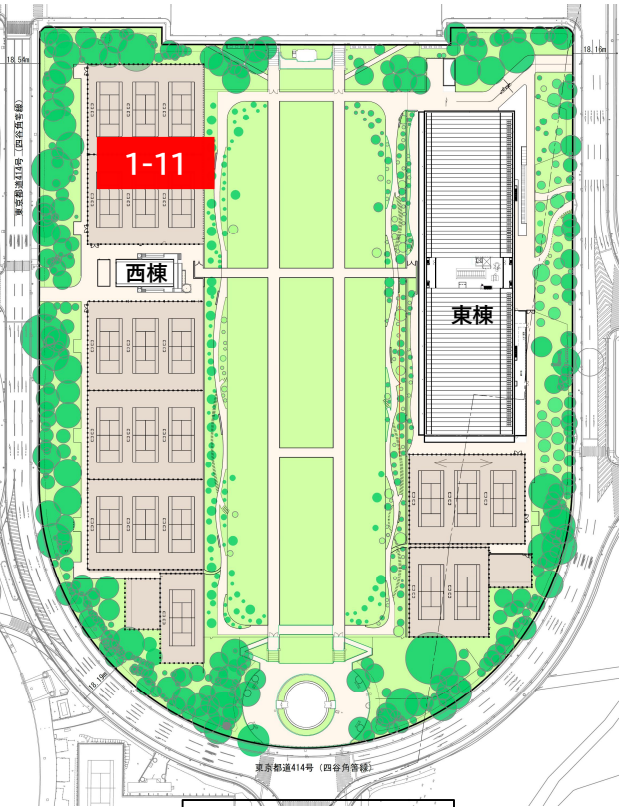
西棟 平面図

【ゾーン分け凡例】

- 施設利用者
- 運営関係者
- 駐車場・車路
- 屋内テニスコート
- 歩行者
- 車両
- 移動等円滑化経路
- 車両動線
- 点状ブロック
- 線状ブロック

【アイコン凡例】

- 傾斜路
- 階段
- 車椅子使用者用駐車施設
- 案内設備
- 車椅子使用者用便房
- 男性/女性トイレ
- 授乳室
- ラウンジ休憩場所
- 駐輪場



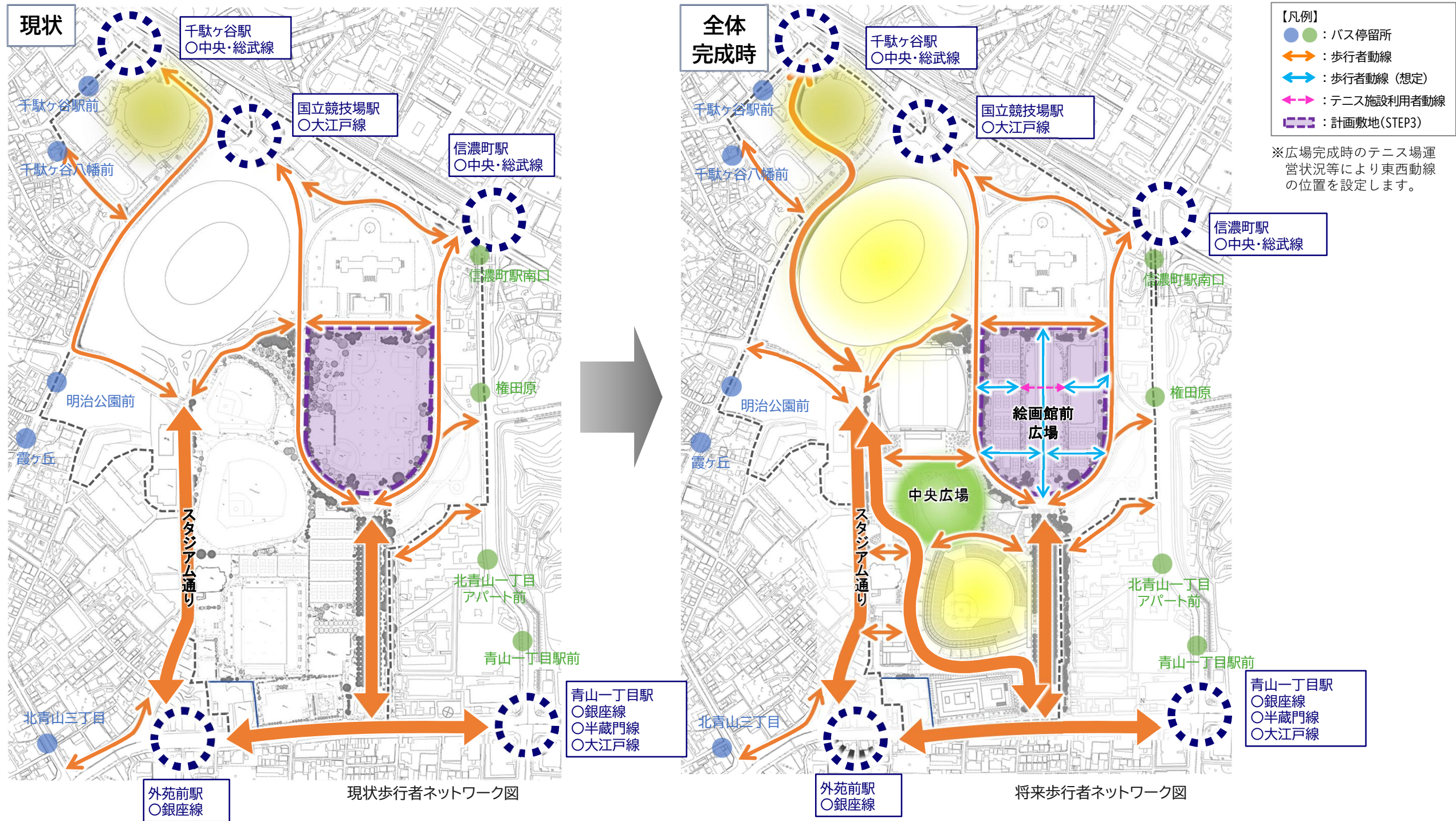
STEP3 配置図

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

方針② ユニバーサルデザインに配慮した地区内の回遊性を高める交通ネットワークの整備

2-1 南北、東西方向の通路等の整備によるイベント時の混雑軽減と回遊性を強化

- ・ 南北東西通路の整備等による歩行者動線の分散を図り、混雑の軽減を図ります。
- ・ 回遊性が乏しかった地区の歩行者ネットワークの整備により人々が楽しめる空間形成を図ります。
- ・ 絵画館前広場の中央部には前庭となる広場と合わせビスタ景の軸線を延伸する歩行者通路を設け、スポーツ施設への利用者のアクセスは原則、外周の東側道路からとし、スポーツ施設間の東西連絡補助通路を広場内に設けます。



※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パース等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

方針③ 地域共生社会において多くの来街者が健やかに憩える場所となる広場スペースを確保

3-1 外構計画

■ 安らぎと憩いを創出する絵画館前広場を整備

- ・絵画館前広場および苑路を敷設し、日常的に散歩や休憩など憩いの場として活用できる、都市に安らぎと活力を与える場を創出していきます。
- ・広場および苑路は、可能な限り段差を無くし、車椅子使用者や高齢者等が安全に利用できるよう、バリアフリーに配慮した空間を目指します。
- ・絵画館前広場の一般開放時間は概ね隣接するスポーツ施設(テニス場)の利用開始時間から日没までを前提とします。野球場での試合やイベント、また周辺施設でのイベント時には観客の通過動線として夜間も広場を開放する運用を想定しています。

■ 重要文化財の保全

- ・聖徳記念絵画館はじめ、いちよう並木のビスタ景を構成する一つの要素である丸池や国旗掲揚塔(重要文化財に付随する象徴的な設備)を保全するとともに、並木からの歩行者が溜まれるような空間を整備します。



①アングル



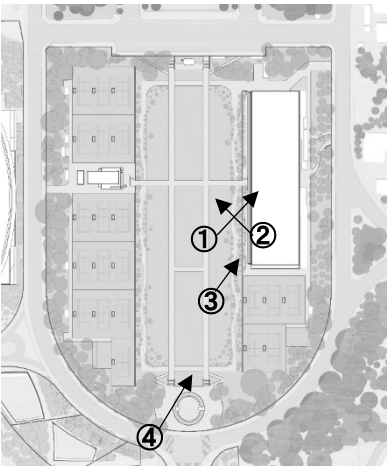
②アングル



③アングル



④アングル



3-2 段階的整備途中における利用者の安全確保(STEP2)

STEP3着工までの約10年間は広場南西にある室内球技場と軟式野球場(コブシ球場)は、継続して利用する予定です。テニスの敷地境界には防球フェンスを設置し越球防止等に配慮し、互いの施設利用者の安全確保を図ります。

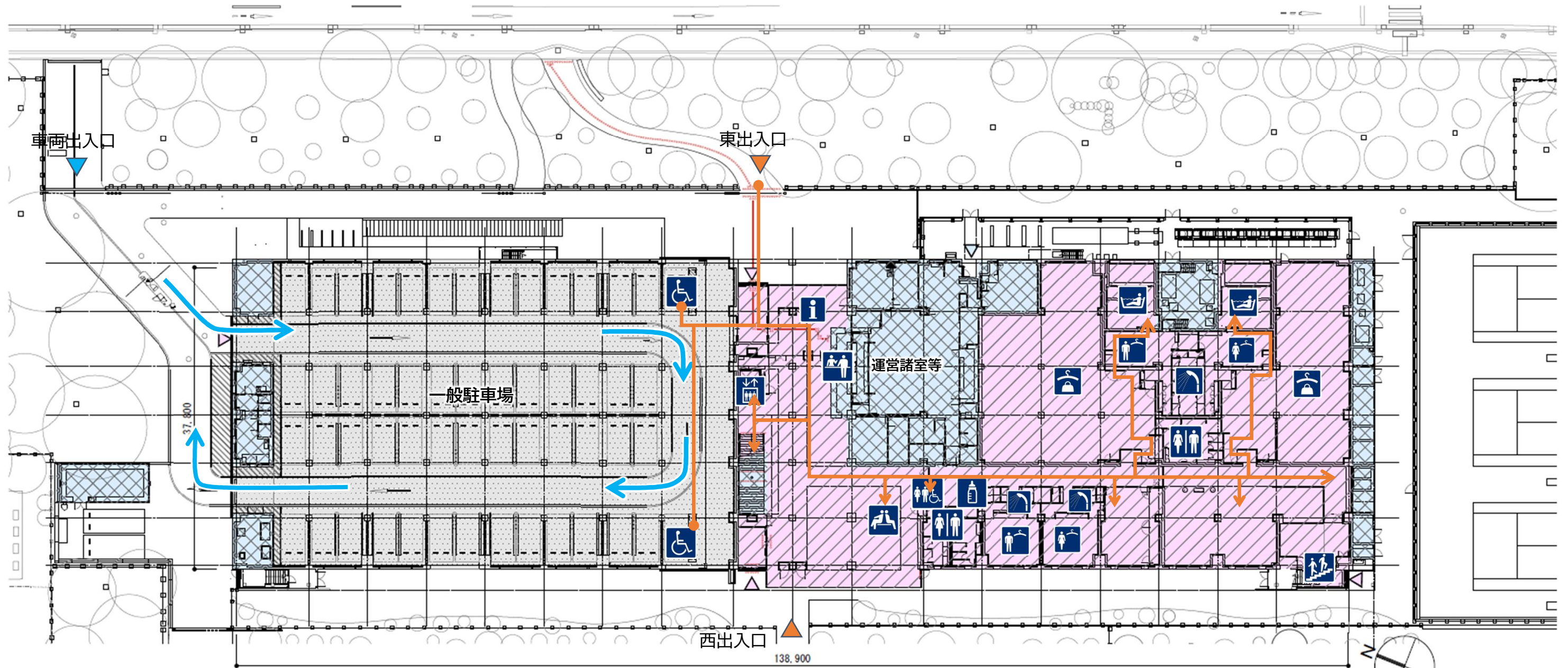
※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パース等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。

多様性対応表

(凡例) ■:基準による整備 □:基準以上、もしくは基準にない整備

※実施設計段階での計画であり、今後の検討により一部変更になる可能性があります。

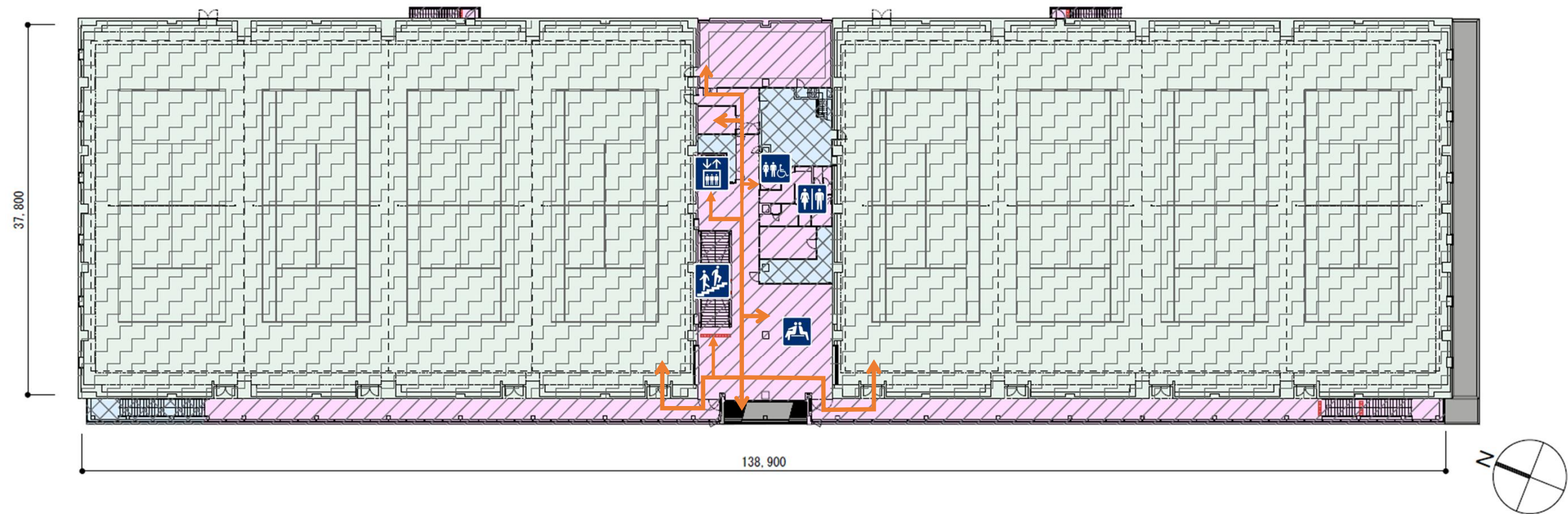
建築物の 部位等	スムーズな移動がしにくい人 (車椅子、杖や歩行補助具利用者)	視覚による情報が得にくい人 (全盲、弱視等の視覚に障害のある人)	音声による情報が得にくい人 (難聴、聴覚に障害のある人)	伝えること・理解することに配慮が必要な人 (知的、精神、発達障害のある人)	様々なニーズにより恩恵を受ける人 (高齢者、子ども、子連れ、妊婦、外国人)
敷地出入口～ 建物出入口 駐車場、駐輪場	■ 段差のない経路 □ 雨に濡れない経路(東棟) □ ピロティ内に車寄せ(東棟) □ 車椅子使用者用駐車場施設(2台)	■ 受付までの点字ブロック敷設	□ 歩車分離 □ 自転車専用路の設置(東棟)	□ 歩車分離 □ 自転車専用路の設置(東棟)	□ 案内設備(西棟)に内線電話を設置 □ 歩車分離 □ 駐輪場では電動アシスト自転車のタイヤサイズを考慮
階段 スロープ 廊下	■ 階段に両側手摺 ■ 踊り場を含めた手摺の設置	■ 階段に点字ブロック敷設 ■ 階段段鼻に色と明度差により視認性確保 ■ 案内サイン設置			
エレベーター	■ EV戸80cm以上 ■ 籠内奥行き135cm以上 ■ 乗降ロビーは150cm角以上 □ 手摺、鏡	■ 乗降ボタンに近接して点字ブロック敷設 ■ 籠内で戸の開閉等を知らせる音声案内 ■ 触ってわかりやすい凸ボタン (EV会社のボタン仕様による)	■ 籠内に階数案内などをモニターで表示	■ 触ってわかりやすい凸ボタン (EV会社のボタン仕様による) □ EV戸へのガラス窓設置	□ EV内モニターに和文と英文の文字を併記表示
避難	□ 車椅子使用者一時避難スペースの確保 □ 大規模災害時の救助ヘリコプター臨時離着陸場候補地と備蓄倉庫の確保	□ 緊急時、エレベーター籠内で音声アナウンス	□ 緊急時、エレベーター籠内モニターに案内を表示	□ 車椅子使用者一時避難スペースの確保	□ 緊急時、エレベーター籠内で4か国語による音声アナウンス放送 □ 緊急時、エレベーター籠内で4か国語によるモニター表示 □ 大規模災害時の救助ヘリコプター臨時離着陸場候補地と備蓄倉庫の確保
建物出入口 受付・窓口 室出入口	■ 建物メイン出入口は幅100cm以上の自動扉 ■ 各室出入口幅85cm以上 □ 受付にハイカウンター、ローカウンター配置	□ 建物出入口がわかりやすい計画	□ 筆談対応可能なカウンター設置	□ 建物出入口から分かりやすい位置に管理室(窓口)を設置	□ 建物出入口から分かりやすい位置に管理室(窓口)を設置 □ 受付にハイカウンター、ローカウンター配置
トイレ 水廻り	■ バリアフリースイレを各階に設置 ■ オストメイト用設備を設置 ■ 床面に段差を設けない □ 車椅子使用者用便房は主要廊下からのアクセスを避ける(2階ははカーテン対応)、各階左右レイアウトを変え、呼出しボタンを配置 □ 各トイレのブースに1ヶ所ずつ手すりを設ける	□ 手摺を壁仕上色との色のコントラストにより視認性を確保 □ 便器リモコンは点字有ボタン □ 車椅子使用者用便房は主要廊下からのアクセスを避ける(2階ははカーテン対応)、各階左右レイアウトを変え、呼出しボタンを配置 □ 各トイレのブースに1ヶ所ずつ手すりを設ける		■ 男女別サインを分かりやすく表示 □ 便器リモコンは分かりやすい絵付表示	□ 便器リモコンは大きく分かりやすい絵付表示 □ ベビーキープを男女便所それぞれ1か所、車椅子使用者用便房に配置 □ おむつ交換所としてトイレを利用 □ 車椅子使用者用便房は主要廊下からのアクセスを避ける(2階ははカーテン対応)、各階左右レイアウトを変え、呼出しボタンを配置 □ 各トイレのブースに1ヶ所ずつ手すりを設ける
サイン	■ EVやトイレ機能を直感的に分かるピクトグラム	■ 壁仕上色との色のコントラストを確保 □ 白内障を考慮したサイン、男性の声による案内の音声案内	□ 高齢者にも聞き取りやすい男性の声による音声案内		■ EVやトイレ機能を直感的に分かるピクトグラム □ 男性の声による案内の音声案内
その他	□ 更衣室に車椅子対応ロッカーの配置対応 □ 夜間、安心安全に敷地内を回遊できる照明計画 □ 熱中症対策としてコートベンチに日除けの設置、西棟に休憩所を設ける			□ 一時的に落ち着くことができる個室空間を設置(救護室等と兼用)	□ 熱中症対策としてコートベンチに日除けの設置 西棟休憩所には、カームダウンスペースとしてハイバックソファを設置



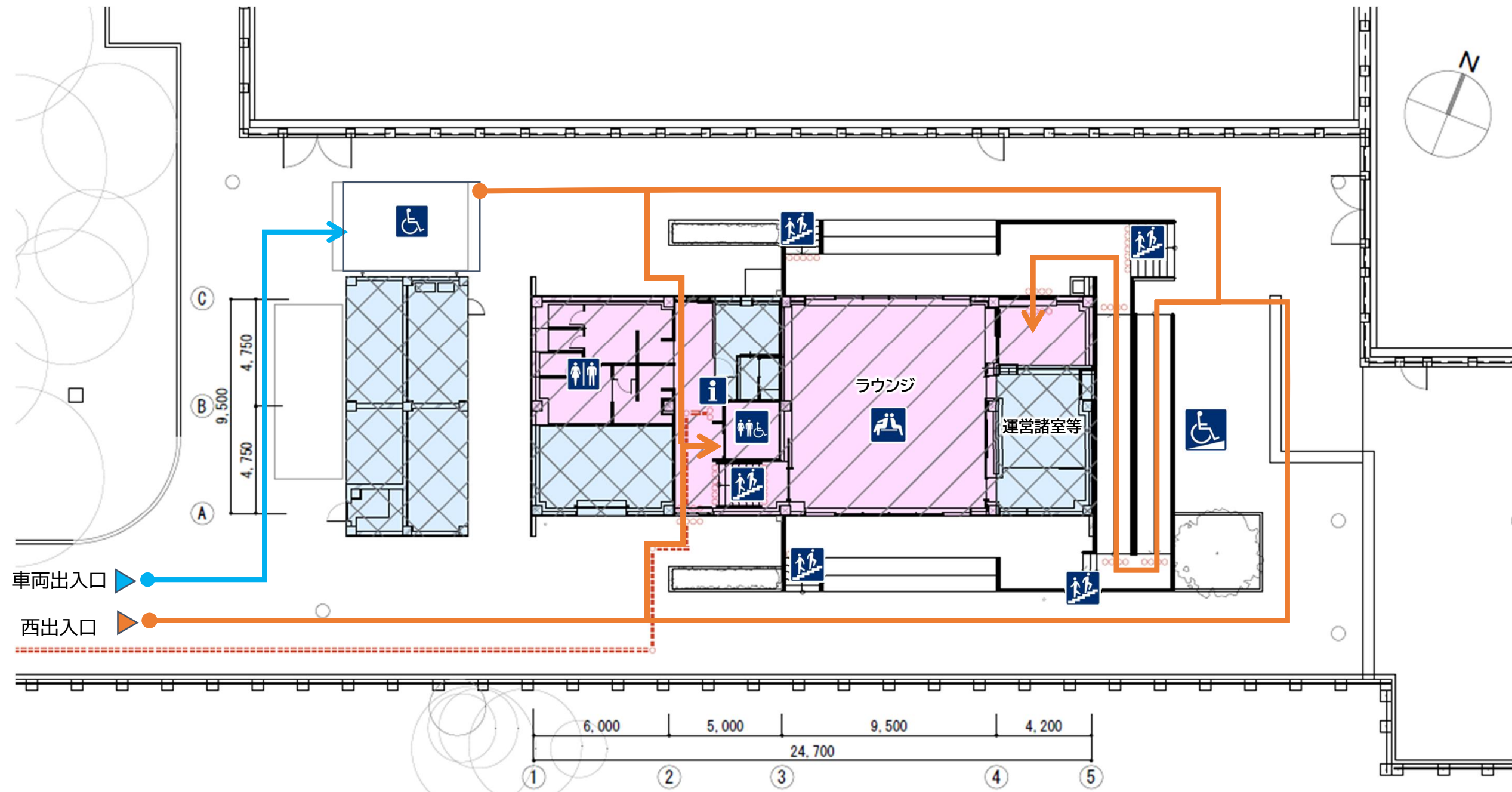
東棟 1階平面図

[ゾーン分け凡例]		[入口凡例]		[アイコン凡例]	
	: 施設利用者		: 施設利用者		: 車椅子使用者用駐車施設
	: 運営関係者		: 運営関係者		: 案内設備
	: 駐車場・車路		: 移動等円滑化経路		: 車椅子使用者用便房
	: 屋内テニスコート		: 車両動線		: ベビーベッド
					: 授乳室
					: シャワー室
					: 女性更衣室
					: 男性更衣室
					: ロッカー
					: ラウンジ 休憩場所
					: 受付カウンター
					: 男性/女性トイレ
					: エレベーター
					: 階段
					: 授乳室
					: 浴室

※今後関係者との協議及び検討の深度化により変更となる可能性があります。
※パス等について個別の状況によりイメージと異なる場合があります。



[ゾーン分け凡例]		[入口凡例]		[アイコン凡例]	
: 施設利用者	: 施設利用者	: 車両	エレベーター	車椅子使用者用駐車施設	案内設備
: 運営関係者	: 運営関係者	: 歩行者	階段	車椅子使用者用便房	授乳室
: 駐車場・車路	移動等円滑化経路	: 点状ブロック	受付カウンター	ベビーベッド	シャワー室
: 屋内テニスコート	車両動線	: 線状ブロック	男性/女性トイレ	浴室	女性更衣室
				男性更衣室	ラウンジ休憩場所
					ロッカー



西棟 平面図

[ゾーン分け凡例]		[入口凡例]		[アイコン凡例]	
	: 施設利用者		: 施設利用者		傾斜路
	: 運営関係者		: 運営関係者		車椅子使用者用駐車施設
	: 駐車場・車路		: 移動等円滑化経路		車椅子使用者用便房
	: 屋内テニスコート		: 車両動線		ラウンジ休憩場所
					男性/女性トイレ
					案内設備
					階段
					点状ブロック
					線状ブロック